

議案第 32 号

小城市給付型育英資金条例施行規則

小城市給付型育英資金条例施行規則を別紙のとおり提出する。

令和 2 年 3 月 26 日

小城市教育委員会教育長 大野 敬一郎

提案理由

小城市給付型育英資金条例の制定に伴い、同条例施行規則を定める必要がある。

これが本議案を提出する理由である。

小城市教育委員会規則第 1 号

小城市給付型育英資金条例施行規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、小城市給付型育英資金条例（令和 2 年小城市条例第 2 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(出願の手続)

第 2 条 高等専門学校又は高等学校（定時制を含む。）へ進学しようとする者で、進学後育英資金の給付を受けることを希望するものは、現に在学している中学校の校長（以下「学校長」という。）の推薦を受けなければならない。

2 学校長は、前項の推薦をしようとするときは、奨学生推薦調書（様式第 2 号）を記入し、厳封の上、奨学生願書（様式第 1 号）と併せて、別に定める期間内に、小城市教育委員会（以下「教育委員会」という。）へ直接又は本人から教育委員会へ送付しなければならない。

(奨学生の決定)

第 3 条 市長は、前条の推薦があつたときは、書類を審査の上、小城市育英学生候補者選考委員会に諮って、奨学生候補者を決定し、保護者を経て本人へ通知する。

2 市長は、前項の奨学生候補者から、進学・在学届（様式第 3 号）及び誓約書（様式第 4 号）を提出させて奨学生を決定し、本人に通知する。

(給付)

第 4 条 育英資金は、毎年 3 回に分けて本人に給付する。

(在学証明書)

第5条 奨学生は、毎学年の在学証明書を4月末日までに、毎学年の成績証明書を翌年度の5月末日までに市長へ提出しなければならない。
この場合において、期限までに提出がない場合は、奨学生を取り消すことができる。

(奨学生の異動)

第6条 育英資金の給付を受けた者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、直ちに当該各号に定める様式による届出書を提出しなければならない。

- (1) 転学（転校）し、退学し、又は卒業したとき 様式第5号
- (2) 休学したとき 様式第6号
- (3) 就職したとき 様式第7号
- (4) 奨学生及び親権者の氏名、住所、職業その他重要な事項に変更があったとき 様式第8号

(復活)

第7条 条例第5条の規定により、育英資金の給付を停止された者が復学したときは、育英資金給付復活願（様式第9号）を提出しなければならない。

(辞退)

第8条 奨学生は、育英資金の給付を辞退しようとするときは、育英資金辞退届（様式第10号）を提出しなければならない。

(返還明細書の提出)

第9条 奨学生は、条例第5条の規定により給付を廃止されたときは、給付を受けた育英資金のうち、条例第6条の規定に係る額について育英資金返還明細書（様式第11号）を直ちに提出しなければならない。

(返還猶予)

第10条 条例第7条の規定により、育英資金の返還を猶予することができる事由は、育英資金の給付を受けた者が、次の各号のいずれかに

該当する場合とする。

- (1) 大学、大学院又はこれらと同程度の学校に在学するとき。
- (2) 医学実地修練に従事するとき。
- (3) 災害又は傷病その他やむを得ない事由によって返還が著しく困難となったとき。

2 前項第3号に該当する場合の返還猶予期間は1年以内とし、更にその事由が継続するときは、願い出により引き続き1年ずつ延長することができる。

3 育英資金の返還猶予を受けようとする者は、育英資金返還猶予願(様式第12号)に、その事由を証明することのできる書類を添付して提出しなければならない。

第11条 条例第8条の規定による返還免除は、育英資金の給付を受けた者が、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

- (1) 死亡したとき。
- (2) 重度心身障害のため労働力を喪失し、返還不能と認められたとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、真にやむを得ない事由により返還不能と認められたとき。

2 前項の返還免除を受けようとする者は、育英資金返還免除願(様式第13号)に次の書類を添付して提出しなければならない。

- (1) 死亡したときは戸籍抄本、重度心身障害によるときはその事実及び程度を証明する医師の診断書
- (2) 返還不能の事実を証する書類

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。



奨 学 生 願 書

ふりがな氏名				性別	※男・女	生年月日	年 月 日 生 (満 歳)	
本人住所	〒 ー 番地 (行政区名) 電話番号 ー () ー			在学学校	学校名	小城市立 中学校		
					卒業年度	年度		
家族住所	〒 ー 小城市 番地 (行政区名) 電話番号 ー () ー			進学希望校	学 校 名			
					学 年			
					設 置 者	※ 国公立等 ・ 私立		
					学部・学科等			
					通 学 区 分	※ 自宅 ・ 自宅外		
同一生計内の家族	家族 (就学者を除く。)	氏 名	続 柄	年 齢	職業又は勤務先		備 考	
	就学者 (本人を除く。)	氏 名	続 柄	年 齢	学校名及び学年	設 置 者	通学区分	
						※ 国公立等 ・ 私立	※ 自宅 ・ 自宅外	
						※ 国公立等 ・ 私立	※ 自宅 ・ 自宅外	
						※ 国公立等 ・ 私立	※ 自宅 ・ 自宅外	
						※ 国公立等 ・ 私立	※ 自宅 ・ 自宅外	
					※ 国公立等 ・ 私立	※ 自宅 ・ 自宅外		

上記のとおり相違ありませんので、奨学生として採用してください。

また、本人若しくは親権者の財産、所得及び就学援助の状況等の個人情報について小城市教育委員会が必要とするときは、同委員会を本人及び親権者の代理人として調査することを承諾します。

年 月 日

小 城 市 長 様

本 人 氏 名 ⑩

親 権 者 氏 名 ⑩
(未成年後見人)

(注) 1 ※印のところは、該当するものを○で囲んでください。
2 学校の設置者の欄の国公立等とは、国、地方公共団体、国立大学法人等が設置する学校です。
3 この願書には、在学学校又は卒業学校の成績証明書を添付してください。

奨 学 生 推 薦 調 書



ふりがな 氏 名		性 別	※ 男 ・ 女
		生年月日	年 月 日 生
学資の支弁が困難である状況の確認		☐	
学 業 所 見			
行動の記録(A、B又はCの三段階評価によること。)			
項 目	評 価	項 目	評 価
基本的な生活習慣		思 い や り ・ 協 力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自 主 ・ 自 立		勤 労 ・ 奉 仕	
責 任 感		公 正 ・ 公 平	
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心	
人 物 所 見			
総 合 判 定	※ A 特に優れている		
	B 優れている		
	C 普通		
上記の者を奨学生として適当と認めますので、推薦します。 年 月 日 小 城 市 長 様 (記入責任者氏名 :) 校長 印			

注 ※印のところは、該当するものを○で囲んでください。



進 学 ・ 在 学 届

年 月 日

小 城 市 長 様

本人(住 所) _____

ふり がな
(氏 名) _____ (印)

(電話番号) _____

(出身校) 年 月

小城市立 中学校卒業

下記とおり進学・在学しています。

1 在学している学校

_____ 高等学校 _____ 科

_____ 高等専門学校 _____ 科

※ 昼間・夜間・全日制・定時制

2 卒業予定 年 月

上記の者は、本学(学部・校)に在学していることを証明します。

年 月 日

学校名

学(学部・校)長



(注)

- 1 期限までに届出(又は事前連絡)のないものは、いかなる理由があっても候補者としての資格がなくなります。
- 2 進学・在学のうち、該当するものを○で囲んでください。
- 3 ※印のところは、該当するものを○で囲んでください。



誓 約 書

年 月 日

小 城 市 長 様

小城市奨学生として採用されましたので、小城市給付型育英資金条例及び小城市給付型育英資金条例施行規則の規定を守ります。

なお、給付を廃止された場合は、規定に従い返還義務を誠実に履行することを誓約します。

給 付 を 受 け る 予 定 期 間	年 月 から 年 月 まで
給 付 見 込 額	円

奨学生（本人） 住 所 _____

電話番号 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

親権者（未成年後見人） 住 所 _____

電話番号 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印) 本人との続柄 _____

(注)

- 1 全て記入すること。記入漏れがある場合は、奨学生を取り消す場合もあります。
- 2 親権者(未成年後見人)の押印は実印とし、印鑑証明書を添付すること。



転学（転校）・退学・卒業届

年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生（本人） 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

電話番号 _____

親権者（未成年後見人） 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

本人との続柄 _____

電話番号 _____

年 月 日付けで次のとおり転学（転校）・退学・卒業しましたので届け出ます。

1 転 学（転 校）

区 分	転学(転校)後の学校	転学(転校)前の学校
学 校 名		
学 部 ・ 学 科 等		

2 退 学

退 学 し た 学 校 名	
退学した学部・学科等	
最 終 受 領 育 英 資 金	年 月分

3 卒 業

卒 業 し た 学 校 名	
卒業した学部・学科等	
最 終 受 領 育 英 資 金	年 月分

(注)

- 1 転学（転校）・退学・卒業のうち、該当するものを○で囲み、必要な事項を記入してください。
- 2 卒業又は転学（転校）の場合は、その事実が分かる書類の写しを添付してください。
- 3 退学した者は返還明細書を添付してください。
- 4 卒業した者及び転学(転校)後も継続して奨学金を受ける者は、返還明細書を添付する必要はありません。



休 学 届

年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生(本人) 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

電話番号 _____

決定番号 _____

在学学校

学 校 名 _____

学部・学科等 _____

学 年 第 学年 _____

次のとおり休学しましたので、届け出ます。

1 休学の期間

年 月 日 から 年 月 日まで

2 休学の理由

3 最終受領育英資金 年 月分まで

上記のとおり休学を許可しました。

年 月 日

学校名

学(学部・校)長



(注) 傷病による場合は、医師の診断書を添付すること。



就 職 届

年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生（本人） 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

電話番号 _____

決定番号 _____

最終受領育英資金 _____ 年 _____ 月分

卒業学校

学 校 名 _____

学部・学科等 _____

年 月 日に次のとおり就職したので、届け出ます。

- 1 職業又は勤務先の名称
- 2 勤務先の所在地
- 3 その他



氏名・住所・職業変更届

年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生（本人） 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

電話番号 _____

決定番号 _____

最終受領育英資金 _____ 年 月 分

卒業学校

学 校 名 _____

学部・学科等 _____

年 月 日に次のとおり氏名・住所・職業を変更しましたので、届け出ます。

氏 名	※ 奨学生本人 親 権 者	新	(フリガナ)
		旧	(フリガナ)
住 所	※ 奨学生本人 親 権 者	新	
		旧	
職 業	奨学生本人	新	新勤務先の名称及び所在地
		旧	旧勤務先の名称及び所在地
変 更 年 月 日			

(注)

- 1 ※印のところは、該当するものに○を付けてください。
- 2 氏名、住所及び職業の変更については、該当する欄に必要な事項を記入してください。
- 3 住所及び職業の変更がある場合は、該当する欄に必要な事項を記入してください。

育英資金給付復活願



年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生(本人) 住 所 _____
フリ ガナ
氏 名 _____ (印)
電話番号 _____
決定番号 _____
在学学校
学校名 _____
学部・学科等 _____
学 年 第 学年

親権者(未成年後見人)
住 所 _____
フリ ガナ
氏 名 _____ (印)
本人との続柄 _____
電話番号 _____

次のとおり復学しましたので、育英資金の給付の復活(※及び給付期限の延長)を申請します。

1 入学年月 年 月
2 休学期間 年 月 日から 年 月 日まで
3 卒業予定 年 月
※4 延期希望する給付期限 年 月
※5 従前の給付期限 年 月

上記の願い出を適当と認めます。

年 月 日
学校名
学(校)長 (印)

- (注) 1 ※印のところは、給付期限の延期を併せて申請する場合に記入してください。
2 親権者(未成年後見人)の押印は、実印とする。



育英資金辞退届

年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生(本人) 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

電話番号 _____

決定番号 _____

在学学校

学 校 名 _____

学部・学科等 _____

学 年 第 学年 _____

親権者(未成年後見人) 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

本人との続柄 _____

電話番号 _____

次の理由により育英資金の給付を辞退したいので届け出ます。

- 1 最終受領育英資金 年 月分
- 2 辞退の理由

(注) 親権者(未成年後見人)の押印は、実印とする。

育英資金返還明細書



フリガナ 氏 名			性 別	※ 男・女	返 還 義 務 額		百	十	万	千	百	十	円
決 定 番 号													
生 年 月 日		年 月 日 生 (満 歳)			返 還 方 法		※ 年賦・半年賦・月賦						
出 身 学 校	学 校 名				返 還 期 間		年 月 から 年 月 まで						
	学 部 課 程												
	学 科				毎 回 還 の 額		百	十	万	千	百	十	円
給 付 終 了 日		年 月 日			最 終 還 の 額								
給 付 終 了 の 理 由		※ 辞退・退学・廃止・死亡			年賦・半年賦の 場合の返還月		年賦の 場 合		毎年 月				
前に 奨学生 であつ たもの	決 定 番 号						半年賦の 場 合		毎年 月				
	出 身 学 校								毎年 月				
卒 業 後 の 連 絡 先					育英資金返還免除の決定を受けた場合 注1								
住 所					返 還 期 間		年 月 から 年 月 まで						
電 話 番 号					返 還 免 除 後 の 返 還 総 額		百	十	万	千	百	十	円
就 職 予 定 先 及 び そ の 所 在 地					毎 回 還 の 額								
名 称					最 終 還 の 額								
住 所					年賦・半年賦の 場合の返還月		年賦の 場 合		毎年 月				
電 話 番 号							半年賦の 場 合		毎年 月				

- (注) 1 規則第11条第1項の規定による返還免除額の決定通知を受けていない者は、「育英資金返還免除の決定を受けた場合」の事項については、記入しないでください。
- 2 金額等を訂正するときは、二重線で消し、必ず本人の訂正印を押してください。
- 3 ※印のところは、該当するものを○で囲んでください。



育英資金返還猶予願

年 月 日

小 城 市 長 様

奨学生(本人)

住 所

フリ ガナ
氏 名

(印)

電話番号

決定番号

最終受領育英資金 年 月分

給付終了時の学校名

親権者(未成年後見人)

住 所

フリ ガナ
氏 名

(印)

本人との続柄

電話番号

次の理由により育英資金の返還を猶予してくださるよう申請します。

1 希望する返還猶予期間(1年以内)

年 月から 年 月まで

2 返還猶予を申請する理由

(注)

- 1 返還猶予を申請する理由は、進学・災害・疾病、その他やむを得ない事由について、詳細に記入し、その事由を証明する書類を添付してください。
- 2 親権者(未成年後見人)の押印は実印とする。



育英資金返還免除願

年 月 日

小 城 市 長 様

申 請 者 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____ (印)

電話番号 _____

※申請者が奨学生（本人）でない場合は、奨学生との関係（ ）

次のとおり育英資金の返還を免除していただきたいので、小城市給付型育英資金条例施行規則第11条第2項の規定により申請します。

1 奨学生（本人） 住 所 _____

フリ ガナ
氏 名 _____

電話番号 _____

決定番号 _____

最終受領育英資金 年 月分 _____

卒業学校

学 校 名 _____

学部・学科等 _____

2 返 還 義 務 額 円

3 返 還 済 金 額 円

4 返 還 未 済 金 額 円

5 返還免除を希望する金額 円

6 返還免除を希望する理由

(1) 家族構成

(2) 資産状況

(3) 生活状況

(4) その他の理由

(注) 死亡の場合は、本人の死亡を証明する戸籍抄本、重度心身障害による場合はその事実及び程度を証明する医師の診断書を添付してください。